

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、以下の問合せ先までお申し出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	呼吸機能検査に基づく疾患発症リスク推定 AI システムの開発とその検証			
② 実施予定期間	実施許可日 から 2028 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	対象期間中に当院で呼吸機能検査を受けられた患者さん			
④ 対象期間	2015 年 7 月 1 日 から 2026 年 5 月 31 日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	呼吸器・感染症内科			
⑦ 研究責任者	氏名	濱田 和希	所属	呼吸器・感染症内科
⑧ 使用する情報等	日常診療または通常の業務において、取得された以下の情報（既存情報）を用います。 研究対象者背景： 識別コード、呼吸機能検査を初めて実施した年齢、生年月、性別、入院・外来の別、身長、体重、喫煙歴、原疾患、合併症、既往歴、現病歴、前治療 血液検査データ：血算（白血球数、白血球分画、赤血球、血小板）、血液生化学（総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、γ-GTP、AST、ALT、BUN、クレアチニン、Na、Ca、K、Cl、CRP、IgE） 呼吸機能検査データ：肺活量（VC）、努力性肺活量（FVC）、1秒量（FEV1）、ピーク呼気流量（PEF）、最高中間呼気流量（MMF/FEF50）、FEF25 画像データ：XP、CT、MRI 予後・転帰：心血管イベント、入院、認知症発症、多疾患併存、フレイル進行、死亡			
⑨ 研究の概要	年齢を重ねることは病気の大きな原因になりますが、同じ年齢でも「とても元気な人」と「病気がちな人」がいます。つまり、カレンダー上の年齢だけでは、本当の「体の衰え具合（生物学的年齢）」や「病気への抵抗力」は分かりません。現在、遺伝子などを解析して「体のなかの年齢」を調べる最新の技術（老化時計）が開発されています。しかし、これらは費用が高く、検査も複雑なため、通常の病院で手軽に使うことはできません。呼吸機能検査で測定される呼吸の能力（肺活量など）は、年齢とともに変化するだけでなく、全身の筋力や心臓の動き、神経系の働きなど身体全体の健康状態を映し出す鏡でもあることが知られています。そこで本研			

	究では「呼吸機能検査（スパイロメトリー）」のデータにAI（人工知能）を組み合わせることで、将来の病気のリスクを予測できる安価で実用的な仕組みを開発することを目指しました。本研究は⑧の収集した患者さんの情報を用いて実施します。以前に当研究グループでは当院の患者さんの情報を用いてAI研究を行っています。そのAI研究と同様に、公開された機械学習アルゴリズムを適用し、AIシステムを構築する研究開発を行います。			
⑩ 実施許可	実施許可日		2026 年 7 月 14 日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	奨学寄附金と当大学医学部附属病院 2026 年度トランスレーショナルリサーチ推進助成金			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 呼吸器・感染症内科 担当者：濱田和希			
	電話	0836-85-3123	FAX	0836-85-3124